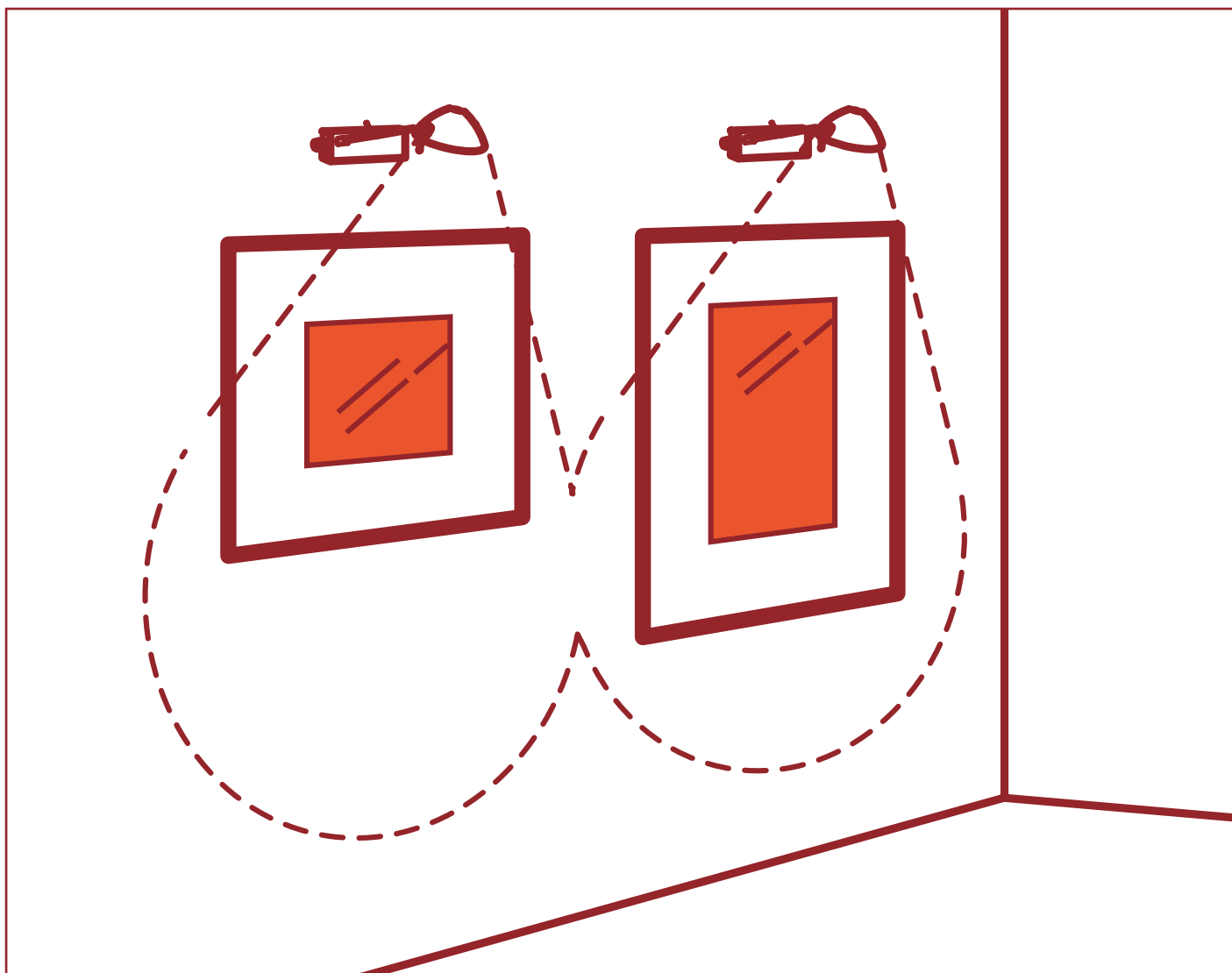


絵や写真のライトアップ方法

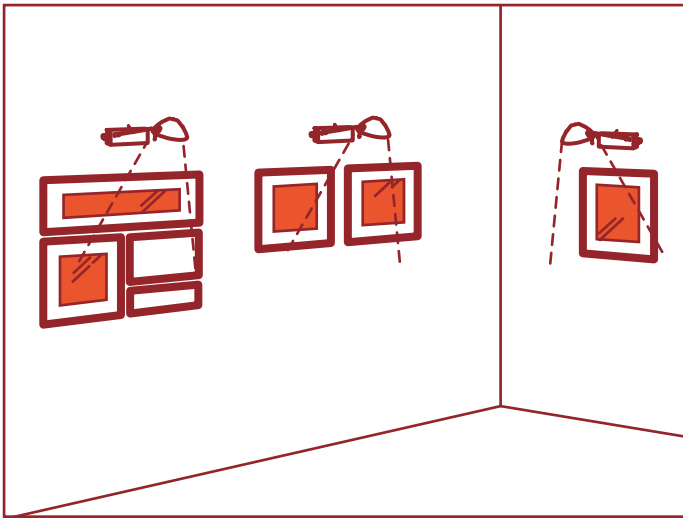
自慢の絵や写真に視線を集めたいなら、必要なのは照明です。一般に室内でもっとも目につきやすいのが「壁」です。

適切な照明を使えば、自分らしさを演出するアイテムを引き立たせたり、壁に飾ったアートに躍動感と深みを与えることができます。



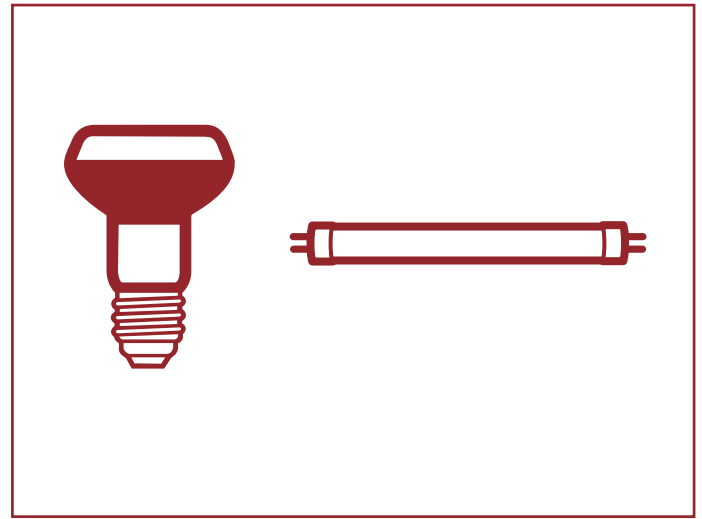
壁のアートがよみがえる

絵や写真をライトアップすると、室内に居心地のいい雰囲気生まれ、快適な間接照明にもなります。照明はアートに躍動感と深みを与え、色調やテーマもそれまでとはちがって見えるようになります。



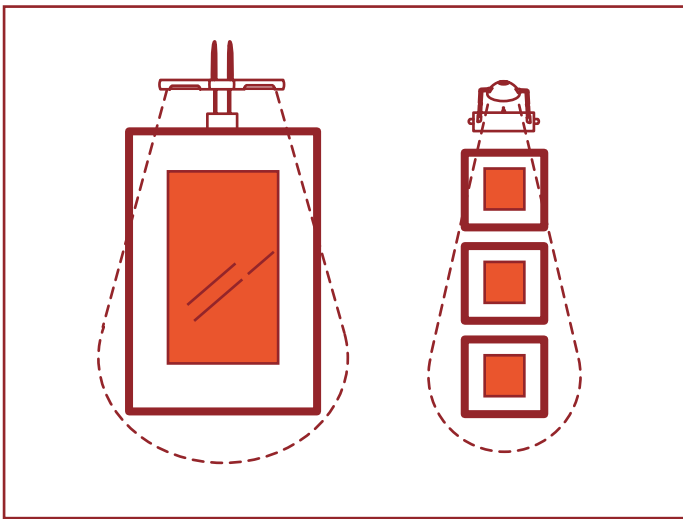
照明は上から

光の映り込みや陰影ができるのを避けたい場合は、上から照明をあてましょう。ヘッドを調節できるランプを使う方法もあります。このタイプのランプは、光の向きを簡単に調節して、絵や写真がいちばん引き立つようにライトをあてることができます。光源から壁までの距離が離れているほど、アート全体に光をあてやすくなります。



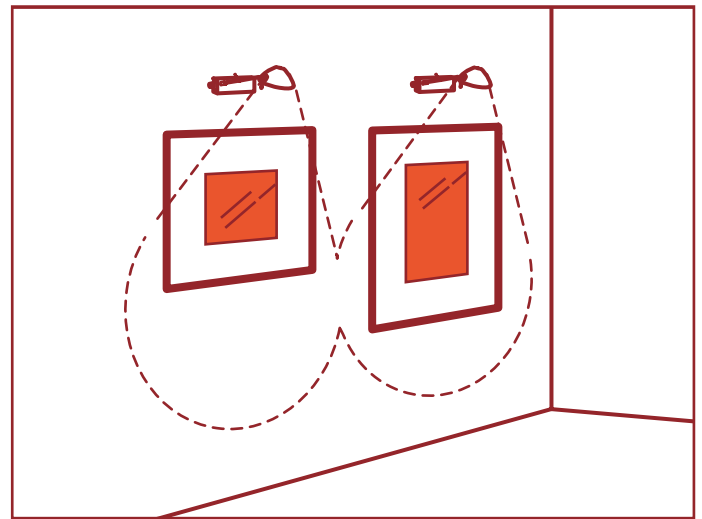
暖色と白色

リフレクター付きの電球は、ぬくもりを感じさせる暖色の光。ハロゲン電球の光はクリアな白色で、電球のなかでいちばん忠実に色調を再現します。作品の色あせを防ぎ、ハロゲン電球の熱から守るため、ハロゲンランプには必ず保護ガラスを装着してください。また、それぞれのハロゲン電球に付属する説明書にしたがい、必ず安全な距離をとって使用してください。



広い範囲を照らす照明と光の向きを変えられる照明

ランプやスポットライトには、さまざまなタイプがあります。光が壁にあたったときに、どんなふうに見えるものがいいですか？ ランプシェードの形によって、光の向きを調節してせまい範囲を照らすものと、比較的広い範囲を照らすものがあります。光源の配置やリフレクターの形も、実際に光がどの程度の大きさになるかを決める重要な要素です。ランプを設置するときには、なるべく光源が目に入らない位置に取り付けるようにしましょう。



照明で個性を演出

適切な照明を使えば、自分らしさを演出するアイテムを引き立たせることができます。適切な照明といっても、ただ照明をたくさん使えばよいわけではありません。機能的な照明を選び、さまざまな光源の相互作用を観察することが必要です。アートを効果的に引き立たせるためには、アート照明の光が背景よりも強くなくてはなりません。つまり暗い壁のほうが、明るい壁よりも効果を出しやすいのです。